

修了生
からの
お便り



「理科は感動だ！」 の実践活動



どの参加者も、「ふしきだな？」どうしてだろう。「わかったぞ！理科って楽しい。」「これは、すごい！」と感動の声を上げています。これは、小森栄治先生が主催する小学校教員対象の研修会の一コマです。先生方が、子どものように目を輝かせて、実験に取り組んでいる様子が印象的です。

小森先生は理科教育コンサルタント業を開始しています。1980年に東京大学工学部の修士課程を修了してからすぐに埼玉県の公立中学校に勤務していました。1987年には、現職派遣によって本学の大学院を修了された大先輩です。両大学の小森先生の恩師たちは「小森さんはジャンク類をあさつたりゴミを拾つたり変わっていましたからね」と語つておられましたが、この点はいまも変わらず進化しておられます。昨年からは、理科教育「コンサルタントとして、全国を飛び回り、「理科は感動だ！」をモットーに、理科の楽しさを伝え、子どもに開放した理科室経営とユニークな理科授業を展開されています。

NHKテレビや新聞などにも数多く紹介され、平成18年には、文部科学大臣優秀教員に表彰され、更に、昨年度は、本学が優れた実践家に送る「辰野千壽教育賞」も受賞されています。

大宮サテライトからの インターネット配信

小森先生は、理科が楽しくなる、理科がよくわかるための教材や指導法を多数出版していますが、どれも実践で試行錯誤を繰り返してきた。本当に「使える」ものばかりです。せっかくの知恵を後輩の皆さん（上越教育大学の学生の皆さんや卒業生、修了生）に知つてもらい、教師としての成長に役立てもらおうと、小森先生と上越教育大学と一緒にインターネット配信講座を実施しています。大宮サテライトを基地局としながら、理科授業のアイディアを配信しています。配信データは、ネット上に無料で公開しています。

(本文の記述は本学学校教育学系准教授 久保田善彦です)

小森 栄治

1956年3月 埼玉生まれ。
1980年3月 東京大学工学系大学院工学系研究科・修士課程修了。
1987年3月 上越教育大学大学院教育研究科・修士課程修了。(埼玉県長期派遣研修)
1980年4月～2008年3月 埼玉県内の公立中学校に勤務。「理科は感動だ」をモットーに、ユニークな理科室経営と理科授業を行った。最終年度には、半年間に約300名の授業見学、理科見学者が訪れた。文部科学省、県立教育センター、民間教育研究団体などの委員、講師をつとめる。
2008年4月 理科教育コンサルタント業を開始。理科の楽しさを全国に伝えている。



以下のアドレスに接続すれば、いつでも小森先生のお話を聞くことができます。

<http://canasta2.lab.tamagawa.ac.jp/groups/komoririka2009/blog/>



写真は、小森先生が開発したヘッドアースモデルを利用していける様子です。東西南北の印のついた帽子をかぶることで、宇宙空間を体で感じながら、月の満ち欠けや季節の星座を学ぶことができる画期的な教材です。この教材の作り方と利用法もインターネットで配信されています。今回の講座を自宅でご覧になった小学校の先生からは、「自分の学校で試してみたら、とても好評だった。」「新學習指導要領を踏まえた内容なので役に立った。」などの声をいただいております。クラスを活気付けるために、どうぞ小森先生と連絡してください。